建築士のまちづくり講座

「実例に学ぶ！まちづくり地域提案の手法」

社会活動委員会　まちづくり部会長　下田　卓夫

まちづくり部会では昨年まで、「まちづくり学習会」を開催。互いの町を知り、学ぶことを目的に、現地でのまち歩きを７年間行いました。そして７支部の魅力や多様なまちづくり活動を、皆さんと共に学んできました。この間、社会構造の大きな転換期を迎え、建築士を取り巻く社会変化の影響を受け、まちづくりの環境も大きく変化しました。これまでの未来創造型まちづくりから、課題解決型のまちづくりへ大きな転換です。



このような社会構造の変化と共に、建築士が地域のまちづくりに専門性を持って関わる重要性が急務とされています。誰がどのように地域やテーマの課題をまちづくりとして解決していくのか？その時のきっかけ、動機、役割や具体的な進め方、そして着地の目標はどのようにされていくのか？これまでの行政からの依頼型まちづくりの方法のみでなく、地域住民や市民の方々と一緒に専門家としてまちづくりを提案、解決していく大きな方向が定着してきています。

このような背景を踏まえ、建築士が主体となり、地域の課題を解決するまちづくりの手法として、東城町で活動している東新会作成「町並み景観修景ガイドライン」（県北支部会員）と尾道市で課題となっている斜面市街地空き家「多門亭」の利活用（尾道支部の取り組み）の２つの事例に着目。地域課題を解決すべくイニシアティブを持った建築士会員のまちづくり活動を知り、学んで頂くことを目的に開催いたしました。



３月３日（土）午前11時30分から、多門亭で現地説明。午後からは尾道商業会議所記念館（市重要文化財）で２事例の代表者、樫原氏、元廣氏、兼原氏とNPOネットワーク竹原で活躍されている東広島支部会員岡田氏、国土交通省担い手事業サポーターの松田氏を含め、パネルディスカッションが行われました。準備期間の短い開催にもかかわらず、50数名の会員のご参加があり、まちづくりの重要性をあらためて感じました。





2012 Information Calendar
4月･5月の行事予定

4 April

9　月 • 二級･木造受験申込受付（～16日まで）

5 May

7　月 • 一級受験申込受付（～14日まで）
19 土 • 三原支部定時総会（三原国際ホテル）
　　• 福山ばら祭参画（福山支部青年委員会）
20 日 • 福山ばら祭参画（福山支部青年委員会）
26 土 • 平成24年度広島県建築士会定時総会
　　（広島県情報プラザ）

社団法人 広島県建築士会
4/2012
MONTHLY No.71 建築士 HIROSHIMA



表紙写真について

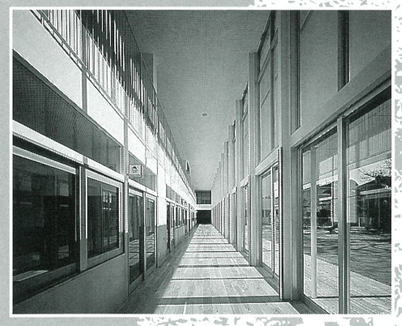
てまり保育園

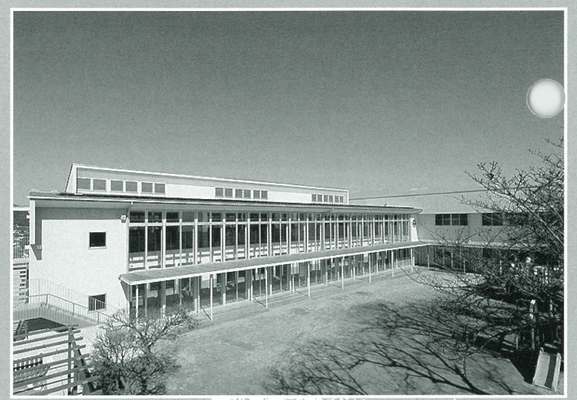
●設計監理／株式会社 濱田昌範建築設計事務所
　　中島建設 株式会社 一級建築士事務所
●施　　工／富士建設 株式会社
●所 在 地／福山市
●構造規模／鉄骨造 2階建
●敷地面積／1646.05㎡
●建築面積／735.86㎡
●延床面積／1114.20㎡
●竣　　工／2012年2月
●写真撮影／野村和慎

「自律」を保育目標に掲げる保育園の建て替え計画です。園児たちが、さまざまな建築的な体験を通して、たくましく自律した大人に育っていってほしいと願いを込めて設計。自然との距離を近く取り、他人の存在を意識し尊重できるよう、なるべくオープンで外に開かれた園舎を目指しました。

具体的には「濡れ縁」により、内でも外でもない曖昧なこの空間から自然をより身近に感じ、自然からさまざまな刺激を受け、自ら遊びを創り出すような意欲を誘発できたらと、設計に思いを込めました。「吹抜」を通して見えたり聞こえたりする他者の存在を常に意識させることで、園全体の一体感や仲間意識、他者への尊厳が育つことを願っています。

濱田　昌範



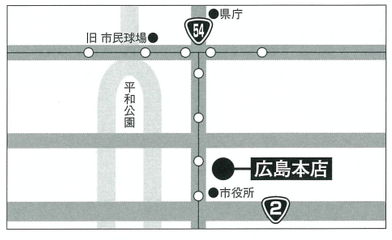


指定確認検査機関
（中国地方整備局長指定第1号）

登録住宅性能評価機関
（中国地方整備局長登録第5号）

登録建築物調査機関
（中国地方整備局長登録第1号）

HOUSE PLUS
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL：082-545-5607（代表）　FAX：082-545-5608



事務局より

24年度 定期講習について

24年度、当会が開催する定期講習日時は以下のとおりです。

開催日	会　場	受付期間	会場コード
10月10日（水）	広島県情報プラザ	7月 2日(月) ～ 9月21日(金)	6D－01
11月 7日（水）	福山商工会議所	7月 2日(月) ～ 10月19日(金)	6D－02
平成25年 2月20日（水）	広島県情報プラザ	7月 2日(月) ～ 平成25年2月1日(金)	6D－03

受講申込の受付（郵送可）
　広島県建築士会本部（広島市中区千田町3-7-47-5F）
受講申込書の配布
　4月中旬～（予定）HPからもダウンロードできます。
　配布場所　広島県建築士会本部・福山支部
　　広島県建築士事務所協会

＊21年度（H21年4月～H22年3月）に受講された方は、2回目の講習になります。
＊新しく建築士登録をされた方＜21年度（H21年4月～H22年3月）登録＞で、設計事務所の建築士として登録している方は、この24年度中に1回目の受講義務があります。（以後3年度ごとに受講）
＊設計事務所の建築士として登録している者は、3年度ごとに「定期講習」を受講することが義務付けられています。
＊「定期講習」は「管理建築士講習」とは別のものです。「管理建築士講習」を受講して管理建築士として登録されている方も、「定期講習」は受講しなければなりません。

24年度会費のお支払いについて

会費の徴収については、23年度より「預金口座自動振替制」を導入致しました。これにご協力いただきました会員の皆様、24年度会費の収納については、来たる平成24年4月12日に12,000円の引き落としが実施されます。残高のご確認をお願いします。

なお、この「預金口座自動振替制」の手続きを希望されない方には、今月号と一緒に郵便局での振込用紙を同封しておりますので、5月末日までに各自お振り込みいただきますようお願い申し上げます。

株式会社 ティーエスハマモト
一級建築士事務所　ＩＳＯ９００１認証取得
TOTAL・STABILITY HAMAMOTO
大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工
〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL 082-238-1511　FAX 082-238-1513

平成24年度から建築確認等の手数料が変わります

■広島県内（福山市除く）の建築確認・中間検査・完了検査申請手数料

広島県内の福山市を除く特定行政庁（県・市）に提出する建築確認・検査申請の手数料額が、平成24 年4月1日から（三次市は6月1日から）以下の表の額になります。

●建築物の申請手数料　（単位：円）

区　分 床面積の合計（㎡）	0 ｜ 30 以下	30 超 ｜ 100 以下	100 超 ｜ 200 以下	200 超 ｜ 500 以下	500 超 ｜ 1,000 以下	1,000 超 ｜ 2,000 以下	2,000 超 ｜ 1,0000 以下	10,000 超 ｜ 50,000 以下	50,000 超 ｜
建築確認	7,000	13,000	19,000	26,000	46,000	65,000	190,000	310,000	600,000
中間検査	10,000	13,000	17,000	23,000	37,000	52,000	120,000	190,000	390,000
完了検査 （中間検査有）	10,000	12,000	16,000	22,000	38,000	53,000	120,000	200,000	400,000
完了検査 （中間検査無）	11,000	13,000	17,000	23,000	40,000	56,000	130,000	210,000	430,000

※1 建築確認の構造計算適合性判定を要する場合の加算額については変更ありません。
※2 計画変更確認申請は計画変更をしようとする部分の床面積の二分の一の面積で算定します。

●建築設備・昇降機・小荷物専用昇降機・工作物の申請手数料
（特定行政庁毎に、設定区分に違いがありますのでご留意ください。）　（単位：円）

区　分	昇降機 建築設備	小荷物専用昇降機	工作物	計画変更		
				昇降機 建築設備	小荷物専用 昇降機	工作物
建築確認	19,000	9,000	13,000	10,000	5,000	7,000
完了検査	21,000	12,000	14,000			

○お問い合わせ先（詳細については、管轄毎に、県又は当該市にお問い合わせください。）

【広島県の問い合わせ先】
県管轄：特定行政庁の広島市、呉市、福山市、東広島市、三原市、尾道市、廿日市市を除く地域（三次市内の法第6条第1項4号物件については、限定特定行政庁の三次市が管轄しています。）
広島県土木局建築課建築指導グループ…… 082-513-4183（ダイヤルイン）
広島県西部建設事務所建築課…… 082-250-8158（ダイヤルイン）
広島県東部建設事務所建築課…… 084-921-1311（代表）
広島県北部建設事務所建築課…… 0824-63-5181（代表）

【県以外の特定行政庁の問い合わせ先】
広 島 市　都市整備局指導部建築指導課……082-504-2287（ダイヤルイン）
呉　　市　都市部建築指導課……0823-25-3511（ダイヤルイン）
東広島市　都市部建築指導課……082-420-0956（ダイヤルイン）
三 原 市　都市部建築課……0848-67-6122（ダイヤルイン）
尾 道 市　都市部建築指導課……0848-25-7245（ダイヤルイン）
廿日市市　建設部都市・建築局建築指導課…0829-30-9195（ダイヤルイン）
三 次 市　建設部建築住宅課……0824-62-6385（ダイヤルイン）

安全で安心な住まいづくりをサポートします

◎　建築確認・検査
◎　住宅性能評価
◎　フラット 35 適合証明
◎　長期優良住宅技術審査
◎　住宅省エネラベル・住宅エコポイント

◎　住宅かし担保責任保険
住宅保証機構（株）　（まもりすまい保険）
（株）住宅あんしん保証　（あんしん住宅瑕疵保険）
（株）日本住宅保証検査機構　（JIO わが家の保険）
ハウスプラス住宅保証（株）　（ハウスプラスすまい保険）
（株）ハウスジーメン　（ハウスジーメン住宅かし保険）

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
URL:　http://www.hkjc.co.jp
本社　〒730-0013　広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220　FAX(082)228-2231
営業所　〒720-0034　福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979　FAX(084)928-3974

支部だより 広島支部

県外見学会（愛媛県）に参加して

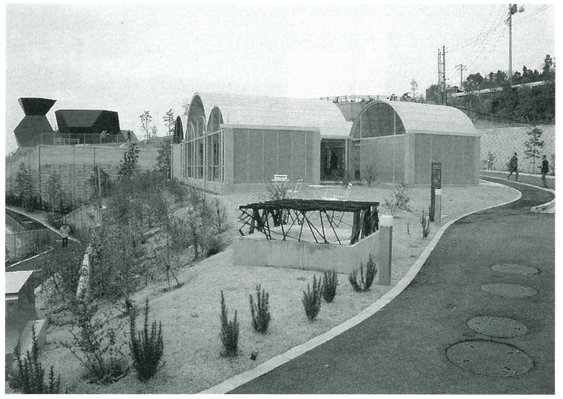
梶川　彰彦

2月25日（土）に第2回県外見学会が開催され、愛媛県方面を訪ねてきました。最初に見学したのは、西条市にある黒川紀章氏設計の「愛媛県総合科学博物館」。球体や円錐、直方体等をうまく組み合わせた外観の造形美は近未来の建物を想像させ、見る者を圧倒するデザインで、空間の贅沢な使い方などに黒川紀章らしさを感じました。



次は同市にある安藤忠雄氏設計の「南岳山光明寺」でしたが、お寺の都合で車窓からの見学となり、残念でした。屋根・軒裏は寺社建築の伝統を守りつつ、外壁は格子状に配した木とガラスで仕上げた大壁面が水の中に浮かび、印象的でした。時間が余ったので、「旧西条藩陣屋跡」にも立ち寄り、大手門やその側に立つ浦辺鎮太郎氏設計の「市立郷土博物館・愛媛民芸館」を見学しました。

その後、今は今治市となった大三島に向かい、伊東豊雄氏設計のミュージアムを2つ見学しました。



1つ目の「伊東豊雄ミュージアム」は、6角形の多面体を組み合わせたスティールハットと、伊東豊雄の旧宅を再現したシルバーハットから成り、スケールは小さいものの、芸術性の高い建物だと感じました。

2つ目の「岩田健　母と子のミュージアム」は、円形のコンクリート壁で囲まれた屋外空間に岩田健氏の彫刻作品を配置したシンプルな作りでしたが、なにかホッとできる寛ぎの空間と感じました。

帰路のバス中ではビンゴゲーム等で盛り上がり、大変充実した見学会でした。津田委員長をはじめ見学委員会の皆様には大変お世話になりました。お疲れ様でした。

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか?

随時、表紙用の写真を募集しています。写真（プリント、ポジ、データ）2～3点を設計概要、設計趣旨（400字程度）と一緒にお送りください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会
〒730-0052　広島市中区千田町3-7-47　広島県情報プラザ5F
TEL：(082)244-6830㈹　FAX：(082)244-3840
mail：info@k-hiroshima.or.jp
URL：http://www.k-hiroshima.or.jp/

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

（既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入）

■ 指定確認検査機関
■ 登録建築物調査機関
■ 住宅瑕疵担保責任保険業務
■ 住宅エコポイント関連業務
■ 登録住宅性能評価機関
■ 適合証明業務(フラット35)
■ 調査診断業務(耐震診断等)
■ 指定構造計算適合性判定機関
■ 長期優良住宅認定審査業務
■ 耐震診断判定業務

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。

株式会社 ジェイ・イー・サポート
代表取締役　石 山　講

URL http://www. jesupport.jp/
本社　〒730-0041　広島市中区小町2-30
TEL:082-546-1378　FAX:082-249-7190
e-mail:mail@jesupport.jp
支店:東京・札幌　　営業所: 呉

支部だより
尾道支部

地域貢献活動
空き家対策プロジェクト「多門亭復興第2回」

兼原　浩樹

2月25日、昨年3月に引き続き、ボランティアの方々により、不用物の搬出を実施しました。今回で不用物の搬出をほぼ終え、今後は事業予定者と利活用について協議を重ねていく予定です。

【2月の学習会報告】

まちづくり学習会in尾道「多門亭　学習会」報告書

PartⅢ　－ノスタルジー－

多門亭のボランティア活動も3回目を迎えました。前日からの雨は活動を開始する10時にはすっかり上がり、日差しも漏れ始め、絶好のボランティア日和となりました。参加者は、町内会有志、（社）広島県建築センター協会の建築高等職業訓練校の教官、生徒、一般ボランティアの方々と多士済々で、その数はついに40人を超えました。

今回は前回をしのぐ、2トントラック5台分を搬出し、参加された皆様は体力の限界に挑まれ、足、腰、腕各部の痛みに耐えながらも、気持ち良い汗を流しました。清掃後、使用可能となった2階大座敷に参加者で昼食を共にし、多門亭の再生に向けた「夢」第2弾を語り合いました。

語られた「夢」

東京から参加された中島さんから、実現可能な「夢」として貴重な提案をいただきました。夢の一部

- マンガ、アニメーションを中心とした再生の提案があり、一同興味津々で聞き入りました。
- マンガ、アニメは海外からも注目され、外国からも観光客を呼べ、国内からも若者たちが大勢集まる。マンガランチ、マンガおでん、マンガお寿司など、マンガにちなんだ商品開発も有力である。
- マンガ、アニメの吸引力は社会現象化している。社会現象を敏感に察知し、取り入れる行動力が成功の基である。
- 風景がよく、和室の象徴「床の間」のある環境は、創造意欲を掻き立てる。アニメクリエーターが、もはやペンと筆を使う時代ではない。タブレットを持ち歩き、タブレットに作画している。インターネット環境を整えれば、来たい人は大勢いると思う。
- 情報が不足していてニーズを捉えきれていない。尾道では、使える空き家がたくさん有ることを広く情報発信すること。
- また、斜面地で打ってつけの便所がある。循環式の水洗便所で、し尿を堆肥として活用でき、斜面地でその堆肥を使い、野菜を作り地産地消すれば、それだけでも話題性があるし、実用的でもある。
- トイレ学会の知人を紹介するので、是非取り組むように！と背中を押していただきました。
- 最後に、トイレ学会を尾道で開催することも検討してみてはと、力強く締めくくられ、一同感心し、勇気百倍、なんだか楽しくなってきました。

支部だより
福山支部

福山太陽光発電所 見学会

松岡

3月6日、中国電力が低炭素社会の実現を目指し、福山市箕沖町に建設した福山太陽光発電所の見学会が開催されました。参加者は55名でした。

＜福山太陽光発電所の概要＞

- 敷地面積　約20万㎡（20ha）
- 太陽電池面積　約4.5万㎡（4.5ha）
  マツダスタジアム約2個分
- 太陽電池モジュール　16,544枚
- 出力　3,000kW
- 年間発電電力量　約368万kWh
  （一般家庭 約1,000世帯の年間使用電力量相当）
- 二酸化炭素削減量　約2,100t-CO_2／年

引き続き2020年度までに合計1万kW程度の発電導入を目指すそうです。

＜福山市箕沖町に建設しようと決めた理由＞

1. 土地が確保できていた。
2. 送電線が近くにある。50メートル先。
3. 瀬戸内海で晴れの日が多いこと。

パネルは真南向きで傾斜角は20度となっています。ちなみに、沖縄では5度、北海道では雪を落とす為に45度となっています。パネルの耐用年数は20年。雨で洗い流してくれる為、パネルの掃除はしないそうです。さすがにこの枚数を人力で行うと大変ですね。台風対策は風速40mで計算されているそうです。温暖な土地ですが、毎年台風は何度となくやってきます。ただただスケールの大きさに驚きました。中国電力の担当者に、丁寧に説明していただきました。ありがとうございました。



支部だより
広島支部

エコたび「冬の京都～近江八幡へ」

野口　美保

昨年の震災以来、節電や省エネという言葉が飛び交う中、本当に安全で快適な暮らしとは、持続可能な社会とは何なのか。これらの疑問を解決するヒントを探しに、京都と近江八幡への旅を計画しました。

２月18日（土）、雪景色の京都を歩き、町屋に泊まりました。雪見障子から眺める小さな庭、低い建具、のれんなど、町屋らしさを堪能。しかし、１晩過ごして体感した寒さの問題や、深夜に走る車の音。なぜ町屋が減っているのかを、身にしみて理解しました。

翌日の午後、近江八幡にある「小舟木エコ村」へ。ここでは、全国20カ所の「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」の１つに選定を受け、省エネや地域性に配慮したエコハウスを建築し、普及啓発活動に取り組まれています。現在270世帯が暮らしているエコ村。その中に建つエコハウスは集会所のような、モデルハウスのような、実験住宅のような、優しい雰囲気の建物でした。

設計監理をされた（株）片淵建築事務所の片淵さんが、建物を隅々まで案内し、説明して下さいました。材料や素材へのこだわり、琵琶湖からの風を意識した平面プラン、太陽光発電パネルはもちろん地下水を利用した空調、毎日記録され続ける室内環境のデータ。このエコ村の事業実施体制は、近江八幡市とNPO法人、事業法人を軸とした推進協議会、環境省（専門家）や住民といった多くの関わりの中で動いていることに、凄さを感じました。

エコ村には「エコ村憲章」があり、生命や地域性、コミュニティ等が謳われ、各家庭に菜園や雨水タンクの設置を勧められています。「上手に植物を育てられない家庭には、近所のおじいちゃんが手伝いに行くんですよ」と、NPO法人エコ村ネットワーキングの山口さんが話して下さいました。人の助けを借りたり、一緒に何かをすることが、案外エコにつながっているのかもしれないと考えたりします。構想立案から十数年、ゆっくり時間をかけて変化し続けてきたエコ村は、これからも育ち続けるとおっしゃったのがとても深く印象に残りました。

お忙しい中、案内して下さった片淵さんと山口さんにお礼申し上げます。また雪降る寒さの中、参加して下さった皆様に感謝致します。ありがとうございました。









支部だより
福山支部

第14回女性フォーラム　なんでも探建隊
390年前のfukuyama～親子で新発見!!

女性部会　小森　由香子

3月4日（日）、福山大学社会連携研究推進センター（宮地茂記念館）にて、第14回女性フォーラム『なんでも探建隊』を開催しました。今回は昨年8月に開催したウォークラリーをベースに、テーマを「390年前のfukuyama」とし、駅から見えるお城としても有名な福山城をあらためて見直すことで、当時の福山城から発展した町づくりを知り、現在の福山の町を見直してみようと企画。親世代にも新たな発見をしてもらおうと、親子での参加を呼び掛けました。







当日の参加者は子ども12名と保護者7名の、合わせて19名。最初にレクチャーを行い、福山の歴史を簡単に勉強してもらいました。その後、古い福山城の地図で現在の城内を歩きながら、5カ所の各クイズポイントを探し出してクイズに回答。会場に戻ってから、各自の台紙にまとめをしてもらいました。

クイズの内容を1部紹介します。

①福山城天守閣の展望台に上り、当時のお殿様が見たと思う福山の町を想像しながら、現在の福山の街を写真に撮ろう！

この日、天守に上がるのが初めてという親世代の方も多く、お城の東側の商人の町・西側の武家の町・北側のお寺の町と、昔は海まで見えたであろう城下の風景を想像しながら、現在では全く無くなってしまった物や、当時の風情を残す物等をお殿様目線で見て頂きました。

②伏見櫓の中にある伏見城から移築されたしるしを探しましょう！



昔の、いわばリサイクルです。廃城された京都の伏見城から伏見櫓と筋鐘御門が福山城へ移築され現存しています。その他にも移築された建物があったのですが、福山大空襲で焼失してしまいました。

このような「へぇ～」と思うポイントを、親子それぞれの目線で見てもらいました。フォーラム終了後の感想で、親世代からは福山に住みながら初めて知ることがほとんどで楽しかったというものが多く、子どもたちはクイズを探して歩くのが楽しかったようです。参加した子どもの中には、お城博士のような小学生や歴女（歴史好きの女子）の中学生もいて、こちらが「へぇ～」と教えてもらうこともありました。それぞれ楽しく歩いてくれたようです。



今回は福山城に的を絞り歩いてもらいましたが、そこから子どもたちがこの町にただ住むのではなく、自分たちの町の成り立ちと、福山城だけではなくこの町に残る素晴らしい物に気付き、これからを考えてくれたらと思います。



全国女性建築士連絡協議会
京都大会に参加して

社会活動委員会女性部会　家頭　昌子

昨年の東日本大震災を受け、例年7月に開催されている全国女性建築士連絡協議会（全建女）の開催が一時中止の方向で話が進んでおりました。しかし京都府士会の皆様の、こういう時期だからこそ開催すべきとの力強い発信と、被災された東北各県士会の方達の開催を希望する気持ちもあり、半年遅れでの開催となりました。全建女の開催そのものが、昨今の経費削減の動きから今回で最後になるかもしれないと聞いており、それを惜しむ意思表示と思えるような、全国各地から500名を超す参加者がありました。「景観まちづくりからコミュニティーの再構築へ　～京都で考える　日本のまちと暮らし～」というテーマで開催予定のところへ、大震災という自然の脅威を経験したことで、暮らしに大切なものは何なのかをあらためて考え、心をつなぎ地に足のついた生活を取り戻そうという動きが、このテーマに更なる思いとして重なったことも参加者が増えた要因かと思います。

本大会1日目は、岩手、宮城、福島の建築士会から、東日本大震災の現状報告と仮設住宅の現状と課題について報告。各県ともに甚大な被害を受け、その後の復旧・復興も遅々として進まず、限界を感じながらも日々の暮らしの中で一生懸命頑張られている姿に頭の下がる思いです。余震で被害が増幅されていることや地域コミュニティーの分断で苦悩する地元の方達の心労等、伝えられない被害の大きさをあらためて知ることができました。

仮設住宅については各県で対応が違い、その地域の首長の判断によっても違っているのが実情。日本全国同一規格のため地域の特性にそぐわないもの、地域の特性を考え現状に即したもの、またある程度時間が経過した後に作られた入居者に配慮された住居を例に挙げ、今仮設住宅に暮らしている人達の抱える問題点等について報告がありました。各県ともに断熱についての問題点が印象的でした。寒冷地仕様になっていない、お風呂の追い炊きが付いていない、後付けの断熱が意味を成さない仕様となっている等、中越地震の時にも出た問題が未だ対応されていないという事実。今回の話を次の礎として、行政等に強く働きかけていく必要性を強く感じました。また福島士会の女性部会長は、地震と津波の被害だけでなく、その後の原発事故によって引き起こされたさまざまな事柄や問題点、そして現状について声を詰まらせながら真摯に報告をされました。報道されていない現実と、知られていない事実に、自分達の無力さを思い知らされました。普通の暮らしとは何か、大切なものは何か、当たり前の日常を取り戻したいと訴えられた声に答えるよう、皆で努力していかなければと痛切に感じました。

続いて行われた基調講演では、「京都の景観から考える地域のまちづくり」と題して、京都の景観政策や、まちづくりの現代的課題として異なる価値観の共存と価値の共有過程でのコモンズ（地域の共同資源と管理システム）の構築といった、まちの将来像作りについてのシナリオアプローチの話を伺いました。異なる価値観の人と共存できるかどうかが活動の持続性にかかわってくるという話はとても説得力があり、その基盤となるコミュニティネットワークの必要性を強く感じました。



2日目は分科会ごとに分かれて、雪に覆われた京都の街のフィールドワークから始まりました。100年後の美しいまちを目指して2007年に制定された新景観政策によるまちづくりの検証を絡めながら、まちの抱える問題点や行政、法律等との関連、外からの見え方等について熱心な意見を交換。幅広い年齢層からの意見があり、一緒に参加されている青年部からも視点の変わった意見があったりと、有意義な場となりました。

広島県の青年部からも2名が参加。青年部に強く参加を働きかけているため、青年部からの参加者が徐々に増えています。平成21年度長野大会では長野県の青年・女性が合併していたため共同で運営された前例があり、京都でも女性部会の呼び掛けに応じて青年部、まちづくり委員会等他の委員会からも参加して、全県で取り組まれたそうです。これから先の建築士会の有り様を考える良い手本となるような気がします。

各分科会からの報告とアピール文の発表で幕を閉じました。その中に織り込まれている思いを重く受け止めて、各地で頑張っていかなくてはいけないと感じました。